

第二款 副産物ノ利用

製鹽副産物トシテハ苦汁ヲ主トス其ノ利用ハ或ハ肥料ト爲シ或ハ撰種用又ハ豆腐製造用等ニ販賣セラル固形物ト爲シ運搬ノ便ヲ計ルニ至リシハ近來ノコトニ屬シ其ノ使用漸加スルニ至レリ

苦汁及苦汁固形物利用ニ付テハ製鹽經濟ニ密接ノ關係アルヲ以テ其ノ利用狀況ヲ調査スルコトトシ調査手續ノ定メアリ

甲第三二二號長官達(大正二年七月二十一日)

苦汁及苦汁固形物調査手續

第一條 製鹽地方ニ於テ生産スル苦汁利用ノ狀況ハ左ノ二期ニ於テ調査シ別紙様式ニ依リ指定ノ時期ニ報告スヘシ

前期 自一月 至六月 六箇月間分 報告期限 七月二十日  
 後期 自七月 至十二月 六箇月間分 報告期限 翌年一月二十日

第二條 苦汁及苦汁固形物ノ採收、製造、貯藏ノ方法、容器ノ種類、需要、供給、輸送上ノ關係、用途ト品位トノ關係、其ノ他用途ノ利用方法等ニツキ改良考案セラレタル研究調査事項アラハ隨時報告スヘシ但シ特ニ研究調査ヲ要スルモ設備不完全ノ爲該研究調査ヲ施行シ難キトキハ必要ノ事項ヲ具シ其ノ旨報告スヘシ

(別紙様式)(用紙美濃紙)

大正何年前(後)期分苦汁及苦汁固形物調査報告

一 苦汁ノ生産額及苦汁固形物ノ製造額

大正何年何月何日提出 何專賣支局長圖

直轄	調査所名	苦汁ノ生産見込高	採收セサル苦汁見込高	苦汁ノ生産額	前期ヨリ持越苦汁量	計	苦汁トシテノ供給額	苦汁固形物製造用苦汁量	缺減量	計	差引殘	苦汁固形物製造額	苦汁一石當苦汁固形物製造額
		升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	斤	斤



備考

- 一 生産費ハ調査所管区域内ニ於テ生産力及收入、支出等中庸ヲ得標準ト認メ得ヘキモノ一箇所ヲ選定シ調査スヘシ
  - 二 延人員ヲ除クノ外單位未滿ノ端數ハ四捨五入シ單位ニ止メ延人員ハ單位未滿二位ヲ存シ單位未滿三位目ヲ四捨五入スヘシ
  - 三 原料苦汁ハ無償ニテ讓受ケタル場合ト雖其ノ地方ノ販賣價格ニ據リ適當ニ其ノ價格ヲ見積リ掲トスヘシ
- 三 苦汁固形物百斤當包裝費

調査所名	噸			俵			摘	要
	數	量	價	額	包裝手間賃	計		

備考

- 一 石油罐及空樽等ヲ使用シタルモノアルトキハ本表ニ準シ調査スヘシ
  - 二 繩代ハ収又ハ俵ノ價額中ニ合算シ二重以上ノ包裝ノ分ハ其ノ包裝ノ種類ニ從ヒテ各相當欄ニ計入シソノ旨摘要欄ニ明記スヘシ但シ収及俵ヲ併用シタル場合ニハ別欄ヲ設ケテ掲記スヘシ
  - 三 本調査ハ第二表苦汁固形物生産費調査選定地ニ於テ行フヘシ
  - 四 數量(容器)單位未滿ノ端數ハ四捨五入シ其ノ單位未滿一位ニ止ムヘシ
- 四 苦汁固形物分析成績表

調査所名	水	分	夾	雜	物	鹽	化	曹	達	摘	要

備考

- 一 試験品ハ苦汁固形物生産費調査選定地ニ於ケル該期間内製造苦汁固形物ノ中庸ナリト認メタルモノヲ供試料トスヘシ
- 二 製品ニ他物ヲ混シテ販賣スルモノナルトキハ其ノ混濁ノ前後ニ於ケル兩品ニ付分析ヲ行ヒ其ノ成績ハ混濁前ノモノハ黒書シ混濁後ノモノハ其ノ左傍ニ朱書スルモノトス
- 三 本調査ハ可檢物ノ適量ヲ取り鹽收納賣渡事務取扱手續第六十二條ノ規定ニ準據シ鹽化曹達量ヲ定量スヘキモ水分定量ニアリテハ可檢物ノ適量ヲ取り鹽務ニ關スル分析法中第一章鹽分析法第一條但書ニ依リ夾雜物ハ水分及鹽化曹達量ノ和ヲ百ヨリ減シテ得タルモノトス

五ノ一 地方別苦汁及苦汁固形物供給額

地方別	苦汁		苦汁固形物	
	數量	總價額	數量	總價額
	斤	厘	斤	厘
		產地一石當價額		產地百斤當價額
		最高 最低 平均		最高 最低 平均
計				

備考

- 一 供給額ハ管内製鹽場ニ於テ生産シ一般需要者ニ供給シタル數額ヲ掲記スヘシ若シ調査所管外ヨリ移入ニカカル分ニシテ調査所管外ニ移出シタルコト明ナルモノアルトキハ各該當欄ニ外書朱記スヘシ
- 二 產地ニ於ケル價格中包装及容器ニ關スル費用ヲ包含スル場合ハ内書朱記スヘシ
- 三 平均價額ハ總價格ヲ總數量ニテ除シ算出スヘシ
- 四 地方別ハ北海道及各府縣名ニ掲グスヘシ(樺太、朝鮮、臺灣ヲ除ク)

鹽專賣 鹽及鹹水ノ製造 製鹽ノ指導獎勵

五ノ二 仕向地別苦汁及苦汁固形物輸移出額

出 向 地	苦汁			苦汁固形物		
	數量	總價額	產地一石當價額	數量	總價額	產地百斤當價額
	升	厘	厘	斤	厘	厘
計			最高 最低 平均			最高 最低 平均

備考

一 本表ニハ外國ニ輸出シ又ハ樺太、朝鮮、臺灣ニ移出シタル數量ヲ掲記スルモノトス又若シ調査所管外ヨリ移入シタルモノヲ外國ニ輸出シ又ハ樺太、朝鮮、臺灣ニ移出シタルコト明ナルモノアルトキハ各該當欄ニ外書朱記スヘシ

二 平均價額ハ總價額ヲ總數量ニテ除シ算出スヘシ

六 用途別苦汁及苦汁固形物供給額

用 途 別	苦汁			苦汁固形物		
	數量	總價額	產地一石當價額	數量	總價額	產地百斤當價額
	升	厘	厘	斤	厘	厘
			最高 最低 平均			最高 最低 平均



甲第二〇五八號長官達(大正三年五月十八日)

大正二年七月達甲第三二二號中左ノ通改正シ大正三年分ヨリ之ヲ施行ス

一 「支局」トアルヲ「支局、試験場」ニ改ム

二 苦汁及苦汁固形物調査手續第一條本文ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ試験場ニ於テ試験施行ノ際生産スル苦汁及苦汁固形物ニ關シテハ當該試験場ニ於テ本文ノ調査報告ヲ爲スヘシ

化學工業ノ振興ニ伴ヒ苦汁ノ利用著増セルヲ以テ支部局長會議ニ際シ相次テ左記注意ヲ爲セリ

三三 苦汁利用ニ關スル件(大正四年四月)

製鹽副産物タル苦汁利用方ニ付テハ屢注意シタルトコロニシテ各地之カ獎勵ノ結果漸次其ノ需要ヲ増加シタリト雖尙流失ニ放任シ委棄シテ顧ミサルモノ其ノ量尠少ナリトセス然モ近時化學藥品ノ輸入杜絶ト共ニ苦汁ヨリ鹽化加里、臭素等ヲ採取セムコトヲ企圖スルモノアリ加之農工業ノ發達ニ伴ヒ苦汁ハ更ニ其ノ需要ヲ増加セルルヘキ傾向ヲ有スルカ故ニ支局ニ於テモ其ノ用途ノ調査、效用ノ周知ニ努ムルト同時ニ需給上ノ便宜ヲ與ヘ一面鹽業者ヲ指導シテ是等遺利ノ獲得ニ努メシメ以テ斯業經濟上ノ發達ヲ圖ラシムヘシ

三九 苦汁ノ採集ニ關スル件(大正五年四月)

近來苦汁ヲ原料トセル製鹽事業旺盛トナリ苦汁利用ノ途大ニ啓クルニ至リタリト雖從來苦汁ハ其ノ大部分ハ廢棄シテ顧ミサリシ狀況ナリシニ由リ自然之カ採集及保存ニ關スル必要ナル設備モ等閑ニ付シ居リタルモノ多カルヘシ向後當業者ヲシテ適當ナル設備及方法等ヲ講究セシメ製鹽上遺利ナキヲ期セシム様注意スヘシ

二五 製鹽副産物利用ニ關スル件(大正六年五月)

近來化學工業ノ發展ニ伴ヒ苦汁其ノ他製鹽副産物利用ノ途益盛ナルニ至レリ從テ是等工業ノ盛衰カ延ヒテ製鹽經濟上ニ影響ヲ及ホスヘキヤ言フ俟タサルヲ以テ宜ク常ニ其ノ事業ノ變遷推移ニ注目シテ其ノ狀況ヲ詳ニシ隨時其ノ報告ヲ怠ラサルト同時ニ製鹽指導上萬遺憾ナキヲ期セラルヘシ

苦汁及苦汁固形物調査手續中様式ヲ改正ス

甲第二〇四五號長官達(大正六年六月三十日)

苦汁及苦汁固形物調査手續左記ノ通改正シ大正六年前期分(自一月ヨリ之ヲ施行ス至六月)





計									

備考

ガリ生産中原料苦汁ノ搬出入ノ爲變動アル場合ハ適宜見込ヲ以テ原料苦汁數量ヲ掲クルコト

苦汁ノ利用ニ關シ重テ左記注意セリ(支部局長會議)

二五 苦汁利用ニ關スル件(大正七年四月)

苦汁ノ利用ハ漸次擴大シ其ノ製藥ニ關スル事業ノ如キ益堅實ヲ加フルニ至リ鹽業經營ニ益スル所愈大ナラントス是レ畢竟製藥業者ノ苦心企業ノ結果タルヤ言フ俟タスト雖其ノ間專賣官署カ或ハ苦汁ノ分配ニ或ハ賣買價格ノ調停ニ平素多大ノ努力ノ效與リテ力アリト言ハサルヘカラス而シテ是等工業產物ハ何レモ國家ニ貴重ナル物品ニシテ密ニ鹽業經濟ヲ有利ナラシムルノミニアラサルニ依リ將來益其ノ發達ニ盡力セラルヘシ

二二 副産苦汁利用ニ關スル件(大正八年四月)

苦汁利用事業ハ製品價格暴落ノ結果自然衰微ノ傾向アリ隨テ苦汁ノ利用減少シ鹽業上幾分ノ打撃ハ免レサルヘキモ健實ナル事業ノ成立ニ因リ苦汁ノ利用ヲ増進セシムルヲ得ハ鹽業者ノ利益尠少ナラサルヘキカ故ニ當該事業ノ維持上相當ノ便宜ヲ與ヘ且苦汁ノ供給上ニ關シテモ圓滿ヲ期シ得ル様注意セラルヘシ

苦汁ノ利用範圍ハ從來極メテ狭小ニシテ鹽業經濟上探算程度ニ上ラサリシモ歐洲戰亂ハ輸入藥品ノ杜絶トナリ加里鹽類ノ缺乏ハ諸種ノ化學工業又ハ軍需上ニ於テ多大ノ苦痛ヲ感シ苦汁工業ノ有利ナルコトニ著眼スルニ至リ大正四、五年來此ノ種ノ工業俄然勃興シ苦汁價格ノ如キ一石當五錢乃至十錢程度ニ在リシモノ一躍シテ七八十錢ヨリ一圓以上ヲ唱フルニ至リ製鹽經濟ニ及ホス影響大ナルニ至レリ

然レトモ平和回復ニ至ルヤ外國製藥品ハ復ヒ安價ヲ以テ輸入スルニ至リシヨリ一時盛況ヲ極メシ苦汁工業ハ全ク鎮火ノ狀ニ陥リ廢滅相次キ大正九年經濟界ノ恐慌ニ及フヤ斯業同業者ハ事業對策トシテ輸入品課稅ヲ陳情スルニ至レリ大正九年七月ニハ關稅定率法中改正ヲ加ヘ「ブローム」ノ關稅ハ三割五分ニ引上ケタリシモ一般曹達加里ニ及ハサリシ爲第四十三帝國議會ニテハ貴衆兩院共ニ曹達加里等ノ關稅引上ヲ爲シ關稅政策確定ニ努ムルコトニ希望決議ヲ爲スアリ同十年三月第四十四帝國議會ニ及フヤ更ニ關稅率ノ引上ヲ可決シ定率法中改正ヲ加ヘ曹達工業ヲ保護スルニ至レリ當時關稅引上率ハ未タ外國製品ノ輸入ヲ防遏スルニ足ラサリシ狀アリシモ濫ニ之カ引上ヲ爲スハ消費者負擔ノ重過ニ歸スヘキヲ以テ總テ臨時經濟調查會ノ審議決定ニ待ツコトト爲セリ

狀況如此製鹽副產物ノ利用ニ付テハ研究調査ヲ遂ケ之カ伸張ヲ圖ルノ必要アルヲ以テ大正九年中央研究所ノ新設ト共ニ其ノ研究ニ著手シ三田尻試驗場ニ在リテモ諸種ノ實驗ニ從事シ製鹽上ノ資益ヲ講セリ

## 第五節 製鹽ノ試驗、調査

### 第一款 試驗及調査

鹽ニ關スル試驗及調査ハ鹽ノ製造ニ關スル事項、其ノ他鹽ノ用途、製鹽副產物ノ利用等鹽ニ關シ凡有ル研究ヲ遂ケ之カ啓發ニ努メ以テ斯業ノ進歩發達ニ資セリ

地方支局ニ於テハ各地實狀ニ應シ鹽田地盤ノ構成竝其ノ排水、沼井ノ構造、撒砂ノ關係曝砂及採鹹ノ日時、方法、鹹水ノ濾過、竈及釜ノ構造、燃料ノ種類、苦汁ノ注加、揚方、居出、貯鹽等諸多ノ比較試驗ヲ爲シ斷ヘス改善ノ實現ニ努ム其ノ事蹟ニ付テハ頗ル繁多ナルヲ以テ一々之ヲ錄セス爰ニ之ヲ略シ試驗場及研究所ニ於ケル事蹟ニ付テハ款ヲ分チテ記述セムトス

鹽專賣

鹽及鹹水ノ製造

製鹽ノ試驗調査